を妨げず現即無見、見即無見、事理縱横、神力不思議
して皆是佛飯の所為なり故に幸に中道に叶へる是を以
て佛心不生にして非心不不去にして去る縱へば水
清淨なれば滿月底に顯り感應道交信心自己ぞ
るをや永明禪師の曰く法身眞佛は本生滅なし眞に
逆ひ化を起し逆根を引接すと是即如來の本願力を以て
彼有緣の衆生をして寿心想念して必ず自心に於て
佛の来迎をなさしむ譬へ鏡中の像の如し内と外とに
べうべう唯信佛の因緣なりと悟るべく各の信力が

如来の鏡中に現ずるが如し融通の理佛則来迎の法界
如来の光明なりて一念信心に現ずれば法界衆
生信心如来行者の心に現ずるが如し行者阿彌陀佛
融通一如の如来なりて下座する事信の道俗
勿に稱名の苦勞を離れて法淨の極樂に生れる
心地して歩び給ふ蓮華藏世界の北の方善縁
四に住し國淨土に臨終まで共に住む
子を失いて泣呼び妻妾と忽愛執の苦を捨て
意義の庭に雪見して生死涅槃の苦を捨て